

デジタルイコライザー プリアンプ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

XDP-210EQ

**警告**

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

⚠ 警告 ・ ⚠ 注意	4
-------------------	---

▶ 準備

まず、リセットする	5
お使いになる前に	6

▶ 操作

イコライザーを設定する	7
リスニングポジションを設定する	12
サブウーファースの出力を設定する	15
ソースごとに音響効果を記憶する	18
CD/MDごとに音響効果を登録する	19

付録

使用上のご注意	20
故障かな?	21
保証書とアフターサービス	22
主な仕様	23

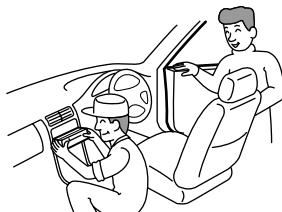


下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で実装するときは、別冊の「実装と接続」の説明に従って、正しく実装してください。正しい実装をしないと、火災や感電の原因となります。

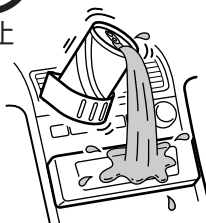


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

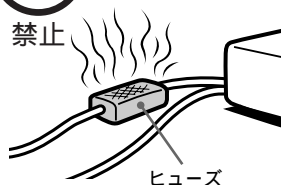


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



分解禁止



はじめに

本機は、デジタルプリアンプ操作機能付きソニーバスシステムマスターユニット対応のデジタルイコライザープリアンプです。フロント18バンドとリア3バンド、計21種類の周波数バンドを使って、オリジナルのイコライザーカーブを設定することができます。

まず、リセットする



初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、マスターユニットのリセットボタンをボールペンの先などで押す。

本機を操作するには

本機の操作は、接続したマスターユニット側で操作します。マスターユニットの音量調整が(+)、(-)ボタンの機種と、ダイヤルの機種で操作が異なります。この取扱説明書では、両機種の操作を説明しています。なお、この取扱説明書での表示説明は実際の表示と異なることがあります。

操作についてのご注意

- 本機はデジタルボリュームシステムでコントロールしていますので、マスターユニットの音量を極端に下げても使いにならないようにしてください。音質が低下する場合があります。
- マスターユニットのラウドネス機能はご使用になれません。
- BAS(低音)、TRE(高音)、EQ(イコライザー)を利かせすぎたときなどには、「Too High」と表示され音がひずむことがあります。この場合には「Lower」表示が出なくなるまで設定レベルを下げてください。
- 本機を同時に2台接続することはできません。

お使いになる前に

操作するモードについて

本機には3種類(サウンドコントロール、サウンドチューニング、ネームエディット)の操作モードがあります。

サウンドコントロールモード

設定項目を選んだり、部分的に調整することができます。

- EQ(グラフィックイコライザー)
イコライザーカーブを選ぶことができます。
- POS(リスニングポジション)
リスニングポジションを選ぶことができます。
- SUB(サブウーファー)
サブウーファーの音量を調整することができます。

サウンドチューニングモード

サウンドコントロールモードで選んだ項目の調整をします。

- EQ(グラフィックイコライザー)
イコライザーカーブの調整と登録をすることができます。
- POS(リスニングポジション)
リスニングポジションを調整することができます。
- CNW(クロスオーバーネットワーク)
カットオフ周波数を調整することができます。

サウンドチューニングモードはBAS(低音)、TRE(高音)、BAL(バランス)、FAD(フェーダー)や音量の調整はできません。これらの調整は接続したマスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

ネームエディットモード

作成したイコライザーカーブに名前を登録することができます。

イコライザーカーブを作成して登録するときは、付属のPRESET MEMORY DATA SHEETに記入して保管しておく便利です。

イコライザーを設定する

EQ

イコライザーカーブを選ぶ (サウンドコントロールモード)

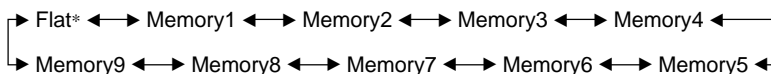
お好みに合わせて調節 / 登録したイコライザーカーブ (Memory1 から Memory9) またはフラット (Flat) を選ぶことができます。

1 設定したいソース (CD、MD、テープ、ラジオなど) を再生する。

2 (SOUND) ボタンを押して「EQ」表示にする。



3 ダイヤルまたは (+)、(-) (音量) ボタンでイコライザーカーブを選ぶ。



* イコライザーでの音質調整が解除されます。

3秒後、通常のモードに戻ります。

イコライザーを解除するには

手順3で「Flat」を選びます。

イコライザーを設定する(つづき)

EQ

好きなイコライザーカーブを作成して登録する (サウンドチューニングモード)

21バンド(FRONT 18バンド、REAR 3バンド)の周波数を組み合わせ
て、9種類のイコライザーカーブを登録することができます。

イコライザーカーブを作成して登録するときは、付属のPRESET
MEMORY DATA SHEETに記入して保管しておくくと便利です。

FRONT周波数(18バンド)

30Hz、45Hz、62Hz、90Hz、130Hz、190Hz、270Hz、400Hz、580Hz、840Hz、
1.2kHz、1.7kHz、2.5kHz、3.6kHz、5.2kHz、7.5kHz、11kHz、16kHz

REAR(3バンド)

90Hz、840Hz、7.5kHz

- 1 設定したいソース(CD、MD、テープ、ラジオなど)を再生す
る。
- 2 (SOUND) ボタンを2秒以上押す。
- 3 (SOUND) ボタンを押して「EQ」を表示する。
- 4 ダイヤルまたは(+)、(-) (音量) ボタンでイコライザーカー
ブを選ぶ。



- 5 イコライザーカーブの周波数を設定する。

- ① 数字ボタン(10) (→) を押して周波数を選ぶ。

F30 → F45 → ... → F16k → R90 → R840 → R7.5k

数字ボタン(7) (←) を押すと反対方向に周波数が変わります。



- ② ダイヤルまたは(+)、(-) (音量) ボタンでレベルを調節する。

ご注意

設定レベルを高くしすぎると「Too High」と表示され音がひずむことがあります。
この場合は、「Lower」表示がでなくなるまで設定レベルを下げてください。

- ③ 手順①と②を繰り返して、イコライザーカーブを作成する。

6 数字ボタン(6) (ENTER) を押す。



7 ダイヤルまたは(+)、(-) (音量) ボタンで登録する番号 (Memory1、Memory2、Memory3など) を選ぶ。

登録をやめたいときは、(SOUND) ボタンを2秒以上押します。

8 数字ボタン(6) (ENTER) を押して登録する。



9 最後に、(SOUND) ボタンを2秒以上押す。

通常モードに戻ります。

ご注意

表示窓にイコライザーカーブの名前が点滅しているときは、登録されていません。このとき登録するには、手順6から9までもう一度操作してください。

続けて他のイコライザーカーブを調節するには

上記の手順8のあと、

数字ボタン(7) (←) を押して、イコライザーカーブ選択モードにします。

次にダイヤルまたは(+)、(-) (音量) ボタンで、イコライザーカーブを選びます。数字ボタン(10) (→) を押してイコライザー調節モードに戻ります。

その後、手順4から操作を行ってください。

イコライザーを設定する(つづき)

EQ

イコライザーカーブに名前をつける (ネームエディットモード)

それぞれのイコライザーカーブに8文字までの名前を登録することができます。名前を登録するときは、付属のPRESET MEMORY DATA SHEETに記入して保管しておくとう便利です。

- 1 (SOUND) ボタンを2秒以上押す。
- 2 イコライザーカーブを選んで、(LIST) ボタンを2秒以上押す。
- 3 文字を入力する。

- ① ダイヤルを右に回して、または(+) ボタンを押して文字を選ぶ。

A → B → C → ... → Z → 0 → 1 → 2 → ... → 9 → + → - → * → / → \ →
> → < → . → _



ダイヤルを左に回す、または(-) ボタンを押すと、逆順に表示されます。

文字をあげたいときは、「 _ 」(下線)を入力します。

名前を消したいときは、すべての文字に「 _ 」(下線)を入力します。

- ② 文字が見つかったら、数字ボタン(10) (→)を押す。

次の文字を入力できるようになります。



間違えたときは、数字ボタン(7) (←)を押して修正したい文字を点滅させて正しい文字を入力します。

- ③ 手順①と②を繰り返して、名前を入力する。

- 4 (LIST) ボタンを2秒以上押す。

- 5 数字ボタン(6) (ENTER)を押す。

6 ダイヤルまたは(+)、(-) (音量) ボタンで登録したい番号を選ぶ。

7 数字ボタン⑥ (ENTER) を押す。

名前が登録されます。



8 最後に、(SOUND) ボタンを2秒以上押す。

通常モードに戻ります。

ご注意

表示窓にイコライザーカーブの名前が点滅しているときは、登録されていません。このとき登録するには、手順5から7までもう一度操作してください。

リスニングポジションを設定する

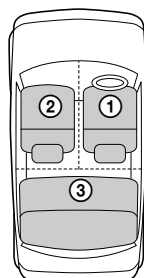
POS

リスニングポジションを選ぶ (サウンドコントロールモード)

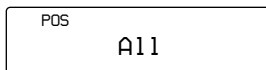
聞き手の位置(リスニングポジション)を選ぶと、各スピーカーからの音の到達時間を調整して、自然な音像定位を得ることができます。

本機には5種類のリスニングポジションが用意されています。

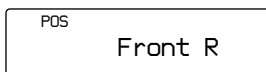
表示	聞き手の位置
All	全席(①、②、③)
Front	前席(①、②)
Front R	前席右(①)
Front L	前席左(②)
Rear	後席(③)



1 **[SOUND]** ボタンを押して「POS」表示にする。



2 ダイヤルまたは**[+]**、**[-]**(音量)ボタンでリスニングポジションを選ぶ(上の一覧を参照)。

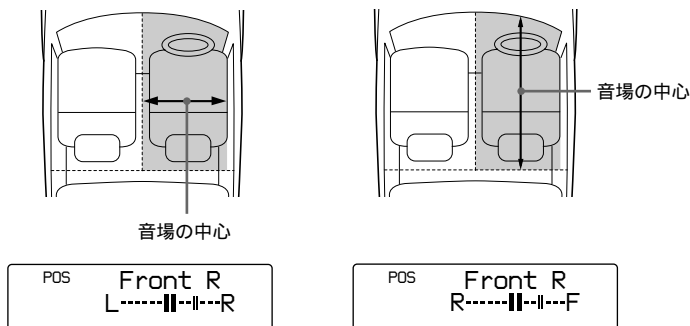


3秒後、通常モードに戻ります。

リスニングポジションを微調整する (サウンドチューニングモード)

5種類のリスニングポジションは、左右および前後方向に微調整できます。

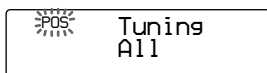
Front Rでの調整例



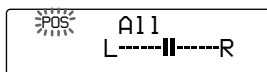
ご注意

リスニングポジションを微調整するときは、マスターユニットのBalance(左右のスピーカーバランス)とFader(前後のスピーカーバランス)は中央にしてください。

- 1 (SOUND) ボタンを2秒以上押す。
- 2 (SOUND) ボタンを押して「POS」表示にする。
- 3 ダイヤルまたは(+)、(-) (音量) ボタンでリスニングポジションを選ぶ。



- 4 数字ボタン(10) (→) を押す。



- 5 ダイヤルまたは(+)、(-) (音量) ボタンで左右に調整する。

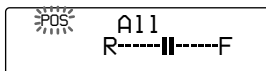
+ : R(右)より移動

- : L(左)より移動

リスニングポジションを設定する(つづき)

POS

6 数字ボタン (10) (→) を押す。



7 ダイヤルまたは (+)、(-) (音量) ボタンで前後に調整する。

+: F(前)より移動

-: R(後ろ)より移動

8 最後に、(SOUND) ボタンを2秒以上押す。

通常のモードに戻ります。

サブウーファーの出力を設定する

SUB

操作

サブウーファーの出力レベルを調節する (サウンドコントロールモード)

接続したサブウーファーの周波数特性や再生ソースに合わせて、出力レベルを調節することができます。

- 1 設定したいソース(CD、MD、テープ、ラジオなど)を再生する。
- 2 (SOUND) ボタンを押して「SUB」表示にする。



- 3 ダイヤルまたは(+)、(-) (音量) ボタンでサブウーファーの出力レベルを調節する。
3秒後、通常のモードに戻ります。

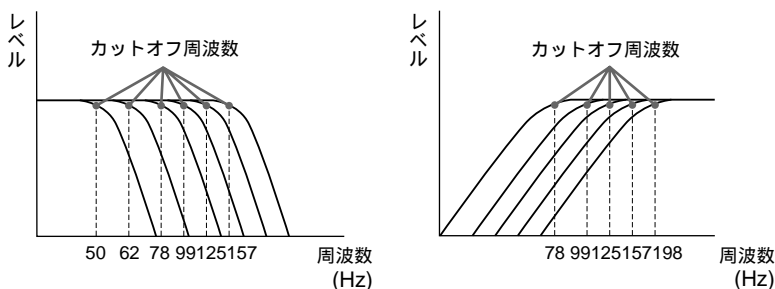
サブウーファーの出力を設定する(つづき)

SUB

サブウーファーのカットオフ周波数を選ぶ (サウンドチューニングモード)

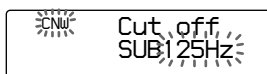
音の指向性(方向)は高い周波数成分によって支配されます。サブウーファーのカットオフ周波数を調整することにより、高い周波数成分をカットし、サブウーファーの設置場所を意識させない、歯切れの良い重低音を作り出すことができます。たとえば、ローパスフィルター(サブウーファー)のカットオフ周波数を62Hzに選ぶと、62Hz以上の音が除かれます。またハイパスフィルター(フロント、リア)のカットオフ周波数を157Hzに選ぶと157Hz以下の音は除かれます。

ローパスフィルター(サブウーファー) ハイパスフィルター(フロント、リア)



1 **[SOUND]** ボタンを2秒以上押す。

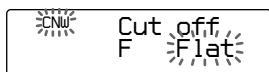
2 **[SOUND]** ボタンを押して「CNW」表示にする。



3 カットオフ周波数を調整する。

① 数字ボタン(10) (→)を押して出力側を選ぶ。

SUB(サブウーファー)→F(フロント)→R(リア)



数字ボタン(7) (←)を押すと、逆順に表示されます。

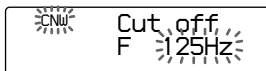
- ② ダイヤルまたは(+)、(-) (音量) ボタンでカットオフ周波数を選ぶ。

SUB (サブウーファー):

50Hz ↔ 62Hz ↔ 78Hz ↔ 99Hz ↔ 125Hz ↔ 157Hz

F (フロント) / R (リア):

Flat ↔ 78Hz ↔ 99Hz ↔ 125Hz ↔ 157Hz ↔ 198Hz



- ③ 手順①と②を繰り返して、カットオフ周波数を設定する。

4 最後に、(SOUND) ボタンを2秒以上押す。

通常のモードに戻ります。

ソースごとに音響効果を記憶する

ソースサウンドメモリー

本機は自動的に各ソース（CD、MD、テープ、FM、AM、テレビ）ごとのイコライザーカーブ、サブウーファー（SUB）出力レベル、低音（BAS）、高音（TRE）の調整レベルを記憶しています（ソースサウンドメモリー）。それぞれのソースに合わせた最適な音場で再生することができます。

ご注意

TVチューナーとTVモニターを接続した場合、TVモニターには「LSM」（ラストサウンドメモリー）と表示されます。

CD/MDごとに音響効果を登録する

ディスクサウンドメモリー

操作

ディスクごとにイコライザーカーブと低音 (BUS)、高音 (TRE)、サブウーファースの音量 (SUB) を設定して登録 (200枚まで) することができます。ディスクごとにいつでも同じ設定で聞くことができます。

この機能が使えるのは、プログラム演奏対応のCD/MDチェンジャーまたはCD/MDプレーヤーで再生しているディスクのみです。

- 1 設定したいディスク (CDまたはMD) を再生する。
- 2 イコライザーカーブと低音 (BUS)、高音 (TRE)、サブウーファースの音量 (SUB) を調整する。
- 3 (SHIFT) ボタンを押す。
- 4 数字ボタン⑨ (PLAY MODE) を押して、「DSM set」表示にする。

CD1 SCHUBERT
DSM set

- 5 数字ボタン⑥ (ENTER) を押す。

手順4のあと、5秒以内に行ってください。

DSM
+Enter+

登録したイコライザーカーブを変えるには

変えたいディスクを再生して、「好きなイコライザーカーブを作成して登録する」(8ページ)の手順で操作してください。

登録したディスクサウンドメモリーを消すには

上記の設定手順5で、数字ボタン⑥ (ENTER) を2秒押します。

DSM
+Delete+

使用上のご注意

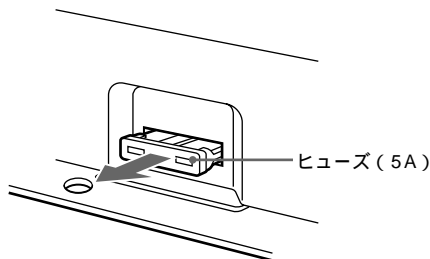
- 本機にはデジタルボリュームを使用していますので音量を極端に下げたお使いになると音質が低下する場合があります。
- 安全のため、運転中は車外の音が十分聞こえる程度の音量でご使用ください。
- 本機とXDP-U50DやXDP-U50DMK2、XDP-66EQ、XDP-600EQを接続すると機能が正しく動きません。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">音量設定が「0」または最小になっている。 → 音量を上げてください。マスターユニットの電源を入れるとPOWERインジケーターが点灯する。→ アンプとスピーカーとの接続を確認してください。RCAピンコード、光ケーブルの接続が不十分である。 → しっかり接続してください。
POWERインジケーターが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none">ヒューズが切れている。→ ヒューズを交換してください。アースが不十分である。 → 車体の金属部にしっかり接続してください。接続しているマスターユニットの電源が入っていない。 → 電源を入れてください。バスケーブルの接続が不十分である。 → しっかり接続してください。
オルタネーターの雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none">電源コード、ピンコードが近い。 → 電源コードとピンコードを離してください。ピンコードが車両ハーネスに近い。→ 離して配線してください。アースが不十分である。 → 車体の金属部にしっかり接続してください。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

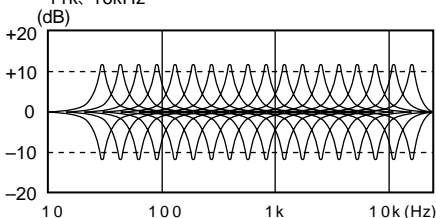
電源	DC12Vカーバッテリー (マイナースース)
消費電流	1A
周波数特性	8Hz ~ 20kHz (フロント)
SN比	105dB (フロント) (JIS-A)
ひずみ率	0.005% (フロント)
トーンコントロール	低音 (bass) $\pm 10\text{dB}$ (310Hz) 高音 (treble) $\pm 10\text{dB}$ (3.1kHz)
入出力端子	バスコントロール入力端子 $\times 2$ オーディオ入力端子 $\times 2$ オーディオ出力端子 $\times 3$ 光デジタル入力端子 $\times 2$
外形寸法	245 \times 145 \times 40mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	電源コード (一式) バスケーブル (2m) (1) RCAピンコード (2m) (3) 取付けビス (4) 端子台カバー (1) 取扱説明書 (一式) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1)
別売りアクセサリ	バスケーブル (RCAピンコード付属) RC-61 (1m) RC-62 (2m)
RCAピンコード	RC-63 (1m) RC-64 (2m) RC-65 (5m) RC-98 (5m)
光ケーブル	
別売り品	マスターユニット (DSPコントロール対応) CDX-C9000、MDX-C8000、 XR-C7000など
CDチェンジャー (アナログ出力)	CDX-715、CDX-T605、 CDX-T602など
CDチェンジャー (デジタル出力)	CDX-805など
MDチェンジャー	MDX-62、MDX-61Gなど
CD/MDプレーヤー	CDX-310、MDX-410など
ソースセクター	XA-C30など
TVチューナー	XT-40Vなど
パワーアンプ	XMシリーズ各種
スピーカー	XSシリーズ各種

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

周波数レスポンス

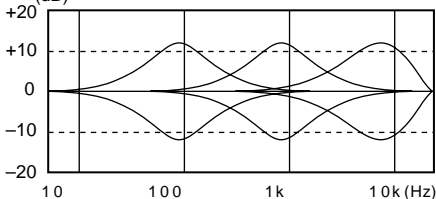
フロントイコライザー ($\pm 12\text{dB}$)

$f_0 = 30, 45, 62, 90, 130, 190, 270, 400, 580, 840, 1.2\text{k}, 1.7\text{k}, 2.5\text{k}, 3.6\text{k}, 5.2\text{k}, 7.5\text{k}, 11\text{k}, 16\text{kHz}$



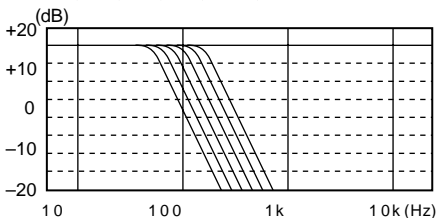
リアイコライザー ($\pm 12\text{dB}$)

$f_0 = 90, 840, 7.5\text{kHz}$



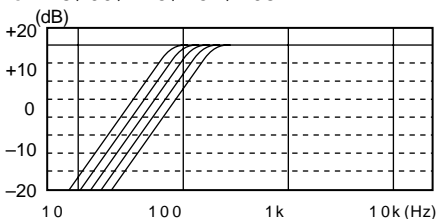
ローパスフィルター (-36dB/oct)

$f_0 = 50, 62, 78, 99, 125, 157\text{Hz}$



ハイパスフィルター (-24dB/oct)

$f_0 = 78, 99, 125, 157, 198\text{Hz}$



ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

Sony Corporation Printed in Japan



* | - 3 - 8 5 6 - 1 5 3 - 0 1 * (2)